

公認指導員研修会カリキュラムについて

I. 参加型研修会の促進

研修会に参加することは、何かを教えてもらうことであり、特に技術的に自分自身が獲得するものがある、と期待して参加する人が多いので、これを改める。研修会＝講習会で与えられた課題をグループごとに討議研究し、統一見解を他のグループに向けて発表するなどの方式を取り入れる。この際、講師は司会・進行役に徹し、見解が明らかに間違いであると判断される場合にのみ助言・訂正を行う。

II. 必須講義項目

(社)JDSFの現状
アンチ・ドーピング(資料あり)

III. 講義項目例一覧

机上講義 (机上講義およびダンススポーツ以外のスポーツ技術)

サークル立ち上げと運営(資料あり)

初心者講習会の進め方(資料あり・有料)

認定サークル規定

ダンススポーツ指導に関する報酬規程

指導者の役割

トレーニング論

対象に合わせたスポーツ指導法(ジュニア・高齢者)

競技者育成のための指導法

指導計画と安全管理

身体のしくみと働き

スポーツ指導者に必要な医学的知識(RICE、救急救命法)

アスリートの栄養・食事

スポーツの心理

ジュニア期のスポーツ

地域におけるスポーツ振興

スポーツと法

「JDSFダンススポーツ教程」より重要用語

ウォーミングアップ・ウォーミングダウン

ストレッチ

コーチングの基本理念と実技

人前での話し方

事例研究①普及活動

②サークル運営

③競技運営

実技講義 (ダンススポーツの実技講習)

技術認定アマルガメーション

標準アマルガメーション

JDSFダンススポーツ教程に基づく実技講義

ダンススポーツに関する専門技術

※主催者は、会場の都合等も勘案し、有意義な研修となるよう工夫すること

JDSF公認指導員「研修会」カリキュラム例①

	時 間	実 施 項 目	使用テキスト	担当講師
机 上 講 義	10:00～12:00	①(公社)JDSFの現状 ②アンチ・ドーピング ③サークルの立ち上げと運営	JDSF ダンススポーツ教程等	指導員講師 特別講師
	12:00～12:15	質疑応答		
	12:15～13:15	昼食		
実 技	13:15～14:45	④JDSFダンススポーツ教程に基づく 実技講義(スタンダード) 必須フィガー解説 アマルガメーション解説	JDSF ダンススポーツ教程	指導員講師
	14:45～15:00	休憩		
講 義	15:00～16:30	⑤JDSFダンススポーツ教程に基づく 実技講義(ラテン) 必須フィガー解説 アマルガメーション解説	JDSF ダンススポーツ教程	指導員講師
	16:30～17:00	質疑応答		

JDSF公認指導員「研修会」カリキュラム例②

	時間	実施項目	使用テキスト	担当講師
机上	10:00～12:00	①(公社)JDSFの現状 ②アンチ・ドーピング パネルディスカッション ③初心者講習会事例		指導員講師
	12:00～13:00	昼食		
講義	13:00～14:50	④スポーツ指導者に必要な知識 アスリートの栄養・食事 質疑応答		特別講師
	14:50～15:00	休憩		
実技講義	15:00～17:00	⑤技術認定アマルガメーション実習 (G3～G1) 質疑応答		指導員講師

JDSF公認指導員「研修会」カリキュラム例③

	時 間	実 施 項 目	使用テキスト	担当講師
机上講義	10:00～12:00	①(公社)JDSFの現状 ②アンチ・ドーピング ③サークルの立ち上げと運営 質疑応答		指導員講師 特別講師
	12:00～13:00	昼食		
机上講義	13:00～14:50	④話し方講座 講義での話し方:基本とその実習 質疑応答		特別講師
	14:50～15:00	休憩		
	15:00～17:00	⑤標準アマルガメーション実習 質疑応答		指導員講師